

7種で1級合格

全国商高協会検定

大山さん(3年)努力結実

県立花北青雲高校ビジネス情報科3年の大山恵美さん(17)は、全国商業高校協会が主催する検定のうち、7種目で1級合格を果たした。同校からの7種目1級合格者は2011年度以来で、15年度は県内で大山さんのみ。自主学習を重ねた努力が実り、「自分なりの勉強法を見つけられた。とてもうれしい」と喜びを語っている。

同科の生徒全員は、簿記実務検定のほか、情報処理検定のビジネス情報部門またはプログラミング部門の2級に挑戦している。上位の級や他種目の検定は任意で受験しており、今年度は同科3年

生83人のうち、27人が3種目以上で1級を獲得した。大山さんは14年9月から先月にかけて、簿記実務検定、珠算・電卓実務検定(電卓)、ビジネス文書実務検定、英語検定、情

報処理検定(プログラミング)、ビジネス情報部門、商業経済検定の7種目で1級に合格。このうち情報処理検定1級(ビジネス情報部門)は満点だった。在学中に3種目以上で

1級に合格すると同協会表彰を受けることから、「初めは3種目を目指していたが、どこまでできるか挑戦しようと思った」と大山さん。登校時間を早めて自習を習慣付け、授業で扱わない分野は独学した。

検定は早さと正確さが求められるため、検定対策の問題集に何度も取り組んで形式に慣れることを心掛けたという。間違えた問題があったときは先生や友人に相談したり、インターネットで調べたりして苦手を克服した。

担任の西田幸治教諭は「3種目で終わらず、先に進んで取り組んだことは仕事でも生かされると思う。自信を持って卒業してほしい」、小原和雄校長は「他の生徒の模範になる大活躍だ。この成

務する。「今まで勉強してきた良かった。検定に向けた勉強を通して集中力が身に付いたと思う。これからは一般向けの検定にも挑戦したい」と笑みを広げ、新たなステップでの飛躍を誓っている。



全国商業高校協会が主催する簿記実務検定など7種目で1級合格を果たした花北青雲高の大山さん